



AYERED
OMI

幾重にも積み重なった
近江の歴史を紡ぐ

白洲信哉の 近江 山河抄

其の三「百済寺・石塔寺編」

日時 2023年2月5日(日)

13:30開場・14:00～16:00(終了予定) 定員200名

場所 八日市文化芸術会館 東近江市青葉町1番50号

講師 白洲信哉氏・濱中亮成師(百済寺住職)

video出演 薬師行哲師(石塔寺住職)

受講料 500円

学生無料

琵琶湖を中心とした日本文化の発祥の地、近江。
「天智天皇の二年には、百済が滅び、再び多くの帰化人がこの地に移住した。当時の遺品
の一つに、有名な石塔寺の三重の塔がある。(中略)私は日本一の石塔だと信じている」と
『近江山河抄』(白洲正子著)に書かれています。近江ヒストリア講座では孫の白洲信哉
氏を招聘し、今の視点から近江の「えたいの知れぬ魅力」を捉え直し、紡いでいきます。
其の三は、濱中亮成師(百済寺住職)と薬師行哲師(石塔寺住職)に歴史と伝承を、白洲
氏に、「渡来文化」とは何かを考えながら、独自の石の文化を生んだ近江の魅力について
お話しいただきます。

世界遺産でつながるまちづくりコンソーシアム
近江ヒストリア講座



主催 世界遺産でつながるまちづくりコンソーシアム(事務局:彦根商工会議所 彦根市中央町3-8 TEL.0749-22-4551)

協力 長浜市・米原市・彦根市・東近江市・近江八幡市・多賀町・甲良町・豊郷町・愛荘町

「世界遺産でつながるまちづくりコンソーシアム」は、湖東湖北5市4町
(長浜市・米原市・彦根市・東近江市・近江八幡市・多賀町・甲良町・
豊郷町・愛荘町)の商工団体・観光団体など23団体で構成する「彦根
城の世界遺産登録」の実現を目指す共同事業体です。

釈迦山 百濟寺 東近江市百濟寺町



火によって悉く焼き尽くされた。そのとき焼失を免れた御本尊「十一面觀世音菩薩」(別名:植木觀音菩薩、全高3.2m)が2022年国の重要文化財に指定された。

百濟寺には井伊直滋の御墓がある。井伊家2代当主直孝は次期当主と目されていた嫡男直滋を突然勘当し、彦根藩領内の百濟寺に隠遁させた。直滋は寛文元年(1661)この世を去るが、勘当・隠遁の理由は明らかになっていない。

あしょかおうざん 阿育王山 石塔寺 東近江市石塔町

石塔寺の「三重石塔」は高さ7.45メートル、日本最古・最大で、国の重要文化財に指定されている。石塔の別名は「阿育王塔」。造立は7世紀後半頃というが確かなことはわかっていない。何万基という数の石塔石仏群が波のようにこの塔の周囲を埋めつくし、かつて信仰の中心であったことを物語っている。

寺伝によると、紀元前3世紀、阿育王がインド

紅葉の名刹として知られる百濟寺は湖東三山最古級の寺である。推古14年、聖徳太子によって創建されたという。1400年以上前のことだ。創建当時は、渡来僧や先進的な文化・技術を伝えた渡来系氏族の氏寺として発達した。

平安時代、比叡山延暦寺が開創されると天台宗となり、「湖東の小叡山」「天台別院」と称されるほど壮大な寺院になり隆盛を極めたが、信長の兵

を治めたとき仏法の興隆を願って8万4千の塔婆(ストゥーパ)を造り、仏舎利を納めて世界中にまき散らした。そのうちの2つが日本に飛来し、ひとつは琵琶湖に、もうひとつは寺の裏山に落ちたという。

寺は聖徳太子が近江に建立した48か所の最後の寺で「本願成就寺」と称したが、平安時代中期以降、阿育王塔の寺として知られ「阿育王山石塔寺」となったという。数々の謎に包まれた寺には渡来の異国の雰囲気が漂っている。



近江ヒストリア講座「白洲信哉の近江山河抄」其の三「百濟寺・石塔寺編」講師プロフィール



撮影 喜多村みか

白洲信哉 氏

1965年東京都生まれ。細川護熙元首相の公設秘書を経て、執筆活動に入る。その一方、広く日本文化の普及につとめ、書籍編集、デザイン、展覧会などの文化イベントの制作に携わる。2013~2018年骨董・古美術専門誌月刊『目の眼』編集長を務める。

父方の祖父母は、白洲次郎・正子。母方の祖父は文芸評論家の小林秀雄。

主な編著書に『骨董あそび』(文藝春秋)『天才青山二郎の眼』『小林秀雄 美と出会う旅』(新潮社)『白洲家としきたり』(小学館)『かたじけなさに涙こぼる』(世界文化社)朱漆「根来」中世に咲いた華(目の眼)『旅する舌ごころ』(誠文堂新光社)他多数。最新刊に『美を見極める力』(光文社新書)がある。



百濟寺住職 濱中亮成 師

昭和47年(1972)生まれ。平成6年百濟寺山内喜見院住職拝命。平成7年近畿大学農学部農学研究科卒業。平成10年近畿大学農学部大学院博士前期課程修了。平成13年滋賀県愛知郡愛東町役場入庁(現 東近江市役所)。現在勤務先 東近江市役所。令和4年1月百濟寺住職拝命



石塔寺住職 薬師行哲 師

昭和43年(1968)生まれ。龍谷大学経済学部卒業。民間企業勤務を経て平成6年、比叡山行院遂行平成9年石塔寺住職就任



LAYERED OMI

THE STORY OF OMI MAKES THE WHOLE LIFE SHINE

近江ヒストリア講座のコンセプトは「LAYERED」(レイヤード)。「LAYERED」は、重層的な重なりを意味する言葉です。歴史都市5市4町の魅力を世界に伝えるWebサイトが「LAYERED OMI」です。コンテンツは随時追加していきます。



<https://layered-omi.com>

2022年度近江ヒストリア講座「白洲信哉の近江山河抄」其の三「百濟寺・石塔寺編」

- 受講料 500円／学生無料
- 定員 200名(定員になり次第締切)
- 当日は、駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関でお越しください。

申込書に必要事項をご記入のうえ事務局(彦根商工会議所)まで。ホームページからの申込みも可。<https://www.hikone-cci.or.jp>

「近江ヒストリア講座」申込書(必要なところには○をしてください)

FAX.0749-26-2730

申込フォーム



ふりがな	住所	〒		
氏 名			TEL.	FAX.
事業所名				会員事業所関係機関・一般・学生

※ご記入いただいた情報は、当コンソーシアムからの連絡・情報提供に利用する他、参加者の実態調査・分析のために利用することができます。